



広島市医師会執行部ニュース VOL.4

COVID-19 出現から2年余りが経ちました。

オミクロン株の出現により爆発的に拡大した第6波はいまだ収束する気配がなく、第5波とは違った形で医療のひっ迫をもたらし、市民生活を脅かし続けています。

「ワクチン」と「治療薬」という強力な武器を手にしたはずですが、彼らは生き延びるために巧妙に姿かたちを変えながら攻め続けてくる、なかなか手ごわいウイルスです。

私達執行部は会員の皆様とともに一丸となり、覚悟をもって戦い続けます。

一般社団法人 広島市医師会会長 佐々木 博

1. 第112回 臨時代議員会を開催いたします

現在、執行部は3月24日(木)に開催予定の第112回臨時代議員会に向けて準備を進めています。

例年3月に開催する臨時代議員会では、主に次年度の事業計画及び予算をお示ししており、活発な質疑応答がかわされます。

また、今年は2年毎に行われる役員の改選期にあたりますので、厳正な選挙実施に向けた準備も同時進行で行ってまいります。

さて、代議員会について改めてご説明申し上げます。平成26年3月までは、代議員会とその後に総会を開催しておりましたが、平成26年4月に一般社団法人に移行したことに伴い、現在は代議員制となり、代議員会では決算に関する事項、役員の選任など定款で定められた事項について決議が行われています。

代議員の先生方には、直接、開催案内や資料を送付しておりますが、代議員以外の先生方には、医師会だよりや本会ホームページへの掲載を通じて代議員会の開催、議事及び資料をご案内しております。

第112回臨時代議員会は、すべての広島市医師会員にとって次年度以降の大きな方向性を共有する最も重要な行事です。

COVID-19 対策は無論のこと、広島医師会館の将来、看護専門学校の在り方など、継続して検討すべき課題は山積しています。代議員の先生方におかれましては、全会員の意向を平等かつ公正に反映していただきたいと願っております。

2. 2022 広島市医師会コロナプロジェクト報告

(1) 今、救急医療がひっ迫しています！

① 職員・患者にコロナ感染が拡大し、救急患者の受け入れが困難になった病院が相次ぎ、時間外救急医療の要である病院群輪番制の維持が危機的状況にあります。このため、県内の医療機関に対し、圏域を越えた救急医療への協力が呼びかけられており、一部の病院については極めて厳しいスケジュールで輪番を受け持ってもらっているのが現状です。広島市医師会運営・安芸市民病院もこれに協力しています。

また、搬送困難事例は広島市において過去最多になっています。このような状況を受け広島市と調整を行った結果、令和4年2月16日付けで広島市長から市内すべての救急告示病院に対し、救急搬送患者受入れへの協力を呼びかける文書が発出されました。

② 広島市医師会千田町夜間急病センターでは発熱患者の急増に伴い、発熱患者の診察を2診体制にして対応しています。これに伴って、非発熱患者や眼科、整形外科・外科(けが)の救急患者の診療に支障をきたす恐れが出ています。

(2) 3回目ワクチン接種及び小児へのワクチン接種が進められています

会員の皆様におかれましては、発熱患者の診療・検査に加え、ワクチン接種業務に追われるあわただしい毎日と拝察しております。

ワクチンチームでは、速やかなワクチン接種を進めていくために、「速く、広く、多く」を合言葉に、集団接種会場と医療機関に対する効率的なワクチンの配分など、行政と協議を重ねています。

さらに当会では、昨年秋に広島医師会館を会場として集団接種を行った実績をもとに、現在3回目接種を行う検討を始めています。長期間にわたって多くの方に安全かつ円滑に実施できるよう、会場整備や人員配置、外部委託等を含め、前向きに検討中です。

(3) 新型コロナに関する最新情報を引き続き提供してまいります

コロナ疑い患者や濃厚接触者等における検査診療体制についての対応方針が日々変更されることから、会員の皆様の中でも混乱や疑義が生じ、多くの問い合わせやご意見が保健センターや当会に寄せられています。

引き続き、最新情報を正確かつ迅速にわかりやすく広報してまいります。

一般社団法人広島市医師会 総務広報課
広島市西区観音本町1-1-1
電話:082-232-7321 FAX:082-292-5233